

● 報告事項 ●

令和4年度通常総会報告

令和4年5月15日（日）に開催された公益社団法人日本透析医会通常総会において、令和3年度事業が報告され、続いて令和3年度財務諸表、役員（監事）選任についての議案の審議が行われ、これら2議案が原案のとおり承認された。

本通常総会の議事録及び関係資料を掲載する。

通常総会 議事録

【日時】 令和4年5月15日（日）14時00分～14時45分

【場所】 ソラシティカンファレンスセンター「テラスルーム」（2F）
（東京都千代田区神田駿河台4-6）

【会員総数】 1,094名

【出席会員】 752名（内訳：本人出席11名、委任状出席741名）

【出席役員】 会長：秋澤 忠男 副会長：太田 圭洋 山川 智之 専務理事：宍戸 寛治
常務理事：安藤 亮一 甲田 豊 小林 真也 土谷晋一郎 百武 宏幸
監事：岩崎 文昭 篠田 俊雄 渡邊 有三

【定足数報告】

- ・開会に先立ち、井坂事務局長から、「本日の通常総会の出席会員数は、定款第17条の規定に基づき定足数を満たしているので、本通常総会は有効に成立した」旨が告げられた。

【会長挨拶】

- ・秋澤忠男会長から、「本日の総会の開催については、新型コロナウイルスの感染状況により、今回で3回目の、代理人に議決権の行使を委任する形での開催となった。透析患者の新規感染者数・致死率については、ワクチンの効果などにより徐々に抑えられてきているが、リスクの高い透析患者では感染予防と適切な治療になお十分な対応が必要である。感染対策が奏功し、来年はぜひ対面で開催できることを期待したい。また、会員の皆様には、今後とも当会の運営について、ご理解ご協力いただきたい」旨の挨拶があった。

【議長選出等】

- ・本日の通常総会の議長選出が諮られ、異議なしと認められ甲田豊氏が選任され、甲田議長から挨拶があった。

【議事録署名人選出】

- ・議長は、議案の審議に先立ち、議事録署名人について次の2名の理事を指名し、議場に諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

議事録署名人：安藤 亮一 小林 真也

【議事内容】

1. 報告事項「令和3年度事業報告」

山川智之副会長から、通常総会資料「令和3年度事業報告」に基づき、役員会等（通常総会・通常理事会・常任理事会・各種委員会）の開催状況、事業の実施状況、会務報告及び法人の概況等について詳細な報告が行われた。

2. 議案

(1) 第1号議案「令和3年度財務諸表の承認を求める件」

宍戸寛治専務理事から、通常総会資料「令和3年度財務諸表」に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表等に係る財務諸表について、詳細な説明が行われた。

続いて、岩崎文昭監事から、通常総会資料「監査報告書（写）」に基づき、令和3年度事業報告及び計算書類等に関する監事の監査報告が行われた。

以上の説明に基づき、議長により、「令和3年度財務諸表の承認を求める件」について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により原案のとおり承認された。

(2) 第2号議案「役員（監事）選任の件」

秋澤忠男会長から、通常総会資料「役員（監事）選任の件」に基づき、本通常総会の終結をもって監事2名が任期満了となることに伴い、監事2名の選任（重任）について提案がなされた。

議長により、岩崎文昭監事の選任について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により選任された。

続いて、渡邊有三監事の選任について採決が行われ、出席者の過半数以上の多数の賛成により選任された。

監事（重任）（2名） 岩崎 文昭 渡邊 有三

3. その他

議長より、会員2名から書面により提出のあった4項目の質問等について説明が求められ、担当の常任理事からそれぞれの項目に対して詳細な説明があった。

議長は、以上をもって本日の通常総会のすべての議案が終了したと宣言し、14時45分閉会を宣言し解散した。

通常総会 質問事項

会員2名から書面にて質問・意見等のあった4項目について、担当の常任理事から詳細な説明があった。以下に、その質問・意見等の内容（概要）と説明内容を記載する。

【質問1】

会員の組織率について

- (1) 透析医会の活性化、発言力を高めるために組織率の向上を図るべきではないか。執行部の対策をお尋ねしたい。
- (2) 会費の徴収区分①～④は現在でも妥当かどうか。

（説明内容）

ご指摘のように、会員の組織率は、日本透析医会の活性化および発言力を高めるために重要であると考えております。

過去、支部未設立の都道府県の透析医への働きかけ等を行い支部の設立を後押しするなど対応し、実際2017年以降6都県で新たに支部が設立され、残る2県のうち鳥取県については現在支部設立準備中と聞いております。また、各都道府県支部の先生方に、各都道府県の透析医会だけでなく、日本透析医会への入会を働きかけていただくよう働きかけてきましたが、まだ組織率の向上は不十分な状況と考えます。

今後も、まだ入会いただけていない透析施設の先生方に、ホームページや各種学会研究会、講演会等で災害対策や診療報酬改定対応など、医会の活動の必要性を根気強くご説明させていただきながら、今後も引き続き入会を働きかけていきたいと考えます。

会費の徴収区分の変更に関しては、現在の会員にも大きな影響を及ぼす可能性もあることから慎重な検討が必要と考えますが、ご指摘の点も踏まえ今後の日本透析医会の発展に向け検討していきたいと考えます。

【質問2】

コロナ対策について

透析患者の特殊性を鑑み、新型コロナウイルス感染症に対し、透析医会としてさらに強力に積極的にワクチン接種や治療薬の優先配布を行政に働きかけてほしい。

（説明内容）

ご指摘のように、当初、透析患者への優先的なワクチン接種については、厚生労働省から基礎疾患の中で透析患者だけを優先できないとの回答でしたが、その後、昨年6月25日に日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会の連名で、7月16日にはさらに先の3団体に加えて日本腎代替療法医療専門職推進協会とも共同で、厚生労働副大臣に直接面会して「透析患者に対する新型コロナワクチン接種に関する要望書」を提出・説明しました。また、9月2日にも、前記4団体で「透析患者に対する抗体カクテル療法に関する要望」を厚生労働副大臣に直接説明しております。さらに、11月20日には、同じく4団体共同で、厚生労働大臣あてに「慢性腎臓病患者（透析患者含む）および腎移植患者に対する曝露前の抗体療法予防投与に関する要望書」を提出しております。いずれもご指摘のような、透析患者で特に新型コロナ対策が必要な状況を要望書内でも面会時にも説明・要望しております。

また、日本透析医会の新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ委員長であり、さきの3団体合同の新型コロナウイルス感染対策合同委員会委員長でもある日本透析医会の菊地勘理事が、普段から厚生労働省の担当者と連絡を取り合っており、透析患者への新型コロナウイルス治療薬の確保（中和抗体薬及び経口抗ウイルス薬（ラゲブリオ[®]））、感染した透析患者の受け入れ体制の確保、透析患者のワクチン接種の推進の観点から、引き続き対応を強化いただきたい旨を常々伝えております。

直近では、本年4月28日付けで厚生労働省より発出された事務連絡「オミクロン株の特性を踏まえた保健・医療提供体制の対策徹底を踏まえた取組状況及び更なる体制強化について」（<https://www.mhlw.go.jp/content/000935369.pdf>）のなかで、透析患者が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の医療提供体制確保の更なる強化について（P9～10）と地域の医療機関で感染管理措置を講じる等の体制づくりについて（P11～12）の記載がありますが、これらも厚生労働省の担当者と連絡を取り合って作成していただいたものです。

今後も引き続き、日本透析医会として、関係諸団体と協力しながら、透析患者の新型コロナウイルス感染対策に関して、厚生労働省との情報共有および要望を行っていく方針です。また、これらの取り組みと併行して、ワクチンや薬剤・抗体の供給量やワクチン接種・薬剤・抗体投与体制は全国一律ではないことから、引き続き地域ごとに自治体と話し合って対応していただきますようお願いいたします。

【提言】

腎不全協会（仮称）の設立について

腎不全患者の総合的で切れ目のないケアができるように、医療者と患者および福祉関係者が参加する腎不全協会（仮称）のような組織が必要ではないか。

日本透析医会がそのイニシアティブをとって全腎協や福祉事業者等に提案していただきたいと考えております。

(説明内容)

日本透析医会は、全腎協との定期的な意見交換会を開催しています。また、全腎協と当会の合同事業である血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会において、通院送迎の実態や患者の要望などを調査・分析し、提言しています。昨年の調査結果を『日本透析医会雑誌別冊』として8月に刊行予定です。日本透析医会の各支部も全腎協の各支部と密接な連携をとっているところが多いようです。介護・福祉の問題に関しては、とくに入居を必要とする透析患者の施設への受け入れが進んでいない状況について、介護保険委員会で実態調査し、今後提言をまとめる予定となっています。

先生の提言にある医療者と患者および福祉関係者が参加する全国組織については、資金面、労力面においてかなりハードルが高いと思われます。患者、福祉関係者からの会費の徴収は困難であり、近年、製薬企業からの寄付が大幅に減少しており、当会からの多大な拠出が必要となります。現状においては、代表者を集めた連携会議や新型コロナウイルス感染症、介護・福祉などをテーマとして全国の患者、医療者、福祉関係者を対象にweb公開シンポジウムなどの開催なら可能と思われますので、検討したいと思います。

【意見】

今回の改定ではHIF-PH阻害剤を院外処方も認められるように戻してほしい。

小規模の施設では、HIF-PH阻害剤を院内処方に限定されるとデッドストックとなる内服薬が増える心配がある。院内処方のための薬剤購入費用を考えれば、透析の技術料を減らされても、高容量のHIF-PH阻害剤は院外処方の方が得です。

(説明内容)

今回の改定でHIF-PH阻害剤は、院内処方することが原則となりました。

本改定において、日本透析医会は、多くの透析医療機関が院外処方を行っていることから、中医協での議論を受け、厚生労働省に働きかけを行ってきました。

その結果、完全に院内処方ではなく、あくまで原則という形にすることができました。

そして、3月31日発出の事務連絡（疑義解釈）の問214において以下のような解釈が示されております。以下の事務連絡をもとに院外処方の道を模索いただくようお願いいたします。

〔参考〕人工腎臓

(問214)

区分番号「J038」人工腎臓について、「1」から「3」までの場合（「注13」の加算を算定する場合を含む）については、HIF-PH阻害剤は当該保険医療機関において院内処方することが原則である」とあるが、欠品等のやむを得ない事情がある場合は、保険医療機関から保険薬局に対してHIF-PH阻害剤の供給を依頼し、患者に対して使用してよい。

（答） 差し支えない。なお、その場合、当該薬剤の費用については、保険医療機関と保険薬局との相互の合議に委ねるものとする。

通常総会資料

※以下、通常総会資料を掲載する。

報告事項

令和3年度事業報告

I. 事業の状況

1. 役員会等に関する事項

(1) 総会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年5月16日 通常総会	【報告事項】 ・令和2年度事業報告 【議 案】 第1号議案：令和2年度財務諸表の承認を求める件 第2号議案：役員（理事及び監事）選任の件	承認 承認

(2) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年4月16日 第1回通常理事会 (WEB 会議)	【審議事項】 1. 通常総会の開催について 2. 令和2年度事業報告及び決算について (1) 令和2年度事業報告について (2) 令和2年度決算について (3) 監査報告について 3. 委員会（部会）委員長の選定について 4. 日本透析医会が発行する会誌等の転載等許諾に関する規程について 5. 日本透析医会公的研究費に関する諸規程について 【報告事項】 1. 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について 2. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 3. 令和2年度入会者について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和3年5月16日 第2回通常理事会 (ハイブリット会議)	【審議事項】 1. 会長の選定について 2. 副会長、専務理事及び常務理事の選定について 3. 委員会（部会）の構成員について 4. 名誉会員について 【報告事項】 ・新型コロナウイルス感染症への取組状況等について	承認 承認 承認 承認
令和4年2月25日 第3回通常理事会 (WEB 会議)	【審議事項】 1. 令和3年度公募研究助成の決定について 2. 令和4年度事業計画及び収支予算について (1) 令和4年度事業計画（案） (2) 令和4年度収支予算（案） 3. 役員（監事）選任について 4. 倫理審査委員会規程の一部改正について 5. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年6月25日 第3回常任理事会	・前回会議の議事録（案）の確認（5月16日開催） 【審議事項】 2021年度秋期研修セミナーについて（10月3日京都開催） - 令和3年度における寄付金の依頼について - 日本透析医会における他機関からの依頼による情報の発信基準（内規）の一部改正について - 日本透析医学会への委員会（部会）委員の推薦依頼について - 転載等許諾について - 支部開催の研修会、講演会等の経費補助について - 新規入会者について - 透析医療事故に関する全国調査について 【報告事項】 2021年度春期研修セミナー（WEB開催）の開催状況について - 災害時情報ネットワーク会議について（7月8日WEB開催） - 支部長会・透析保険審査委員懇談会について（9月11日WEB開催） - 第25回透析医療費実態調査について - 透析医療機関経営・施設実態調査2021について - 令和4年度診療報酬改定の動向について - 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について - 委員会報告について - 会誌編集委員会（6月11日WEB開催） - 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会（6月15日WEB開催） - 今後の日程について - エポエチンアルファBS注「JCR」について - 公募研究助成を決定した研究者からの照会について - 臓器移植対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状贈呈に係る候補者の推薦について - 会員数について（5月31日現在）	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和3年7月30日 第4回常任理事会 （WEB会議）	・前回会議の議事録（案）の確認（6月25日開催） 【審議事項】 - 支部開催の研修会、講演会等の経費補助について - 新規入会者について - 令和4年度診療報酬改定要望（案）について - 外来機能報告制度について - 日本透析医会雑誌への投稿論文の取扱いについて 【報告事項】 - 第25回透析医療費実態調査について - 透析医療事故に関する全国調査について - 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について - 委員会報告について - 研修委員会（6月28日WEB開催） - 災害時情報ネットワーク会議（7月8日WEB開催） - 会員数について（6月30日現在） - その他 ・次回の常任理事会の開催について（9月10日開催）	承認 承認 承認 継続審議 承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和3年9月10日 第5回常任理事会 (WEB 会議)	・前回会議の議事録（案）の確認（7月30日開催） 【審議事項】 1. 透析医療事故と医療安全に関する調査について 2. 支部長会について（9月11日WEB開催） 3. 「マキサカルシトールのシリンジ製剤についてのお願い」について（扶桑薬品工業株式会社） 4. 慢性維持透析患者外来医学管理料におけるウパシカルセトナトリウム水和物使用時の取扱いについて（株式会社三和化学研究所） 5. 会員からの日本透析医会雑誌への投稿（編集者への手紙）について 6. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について 7. 新規入会者について 【報告事項】 1. 第25回透析医療費実態調査の結果について 2. 透析医療機関経営・施設実態調査2021について 3. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 4. 令和4年度診療報酬改定に関する要望について（8月31日厚生労働省保険局医療課長訪問） 5. 「医療資源を重点的に活用する外来」における透析医療の扱いについて（8月31日厚生労働省医政局総務課訪問） 6. 委員会報告について (1) 医療保険委員会（7月30日WEB開催） (2) 医療事故対策部会（8月11日WEB開催） (3) 令和3年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）第1回研究班会議（8月31日WEB開催） 7. 会員数について（8月31日現在）	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和3年10月22日 第6回常任理事会	・前回会議の議事録（案）の確認（9月10日開催） 【審議事項】 1. 日本透析医会雑誌投稿規程の一部改正について 2. 透析医療事故と医療安全に関する調査について (1) 倫理審査委員会の審議結果について (2) 倫理審査結果通知書（案）について (3) 「透析医療事故と医療安全に関する調査」実施計画書について (4) 透析医療事故と医療安全に関する調査表について 3. 支部開催の研修会，講演会等の経費補助について 4. 新規入会者について 5. 令和4年度年間スケジュールについて 6. 透析日誌について	承認 承認 報告 承認 承認 承認 承認 承認 継続審議 不承認

[illegible]

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	【報告事項】 1. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 2. 2021 年度秋期研修セミナー（WEB 開催）の開催状況について 3. 委員会報告について (1) 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会（11 月 30 日 WEB 開催） (2) 研修委員会（12 月 2 日 WEB 開催） 4. 会員数について（11 月 30 日現在） 5. その他 (1) 「透析施設における肝炎ウイルス感染状況と感染対策に関するアンケート」集計結果について （厚生労働科学研究費補助金肝炎等克服政策研究事業） (2) 次回の常任理事会について（1 月 21 日開催）	承認
令和 4 年 1 月 21 日 第 9 回常任理事会 （WEB 会議）	・前回会議の議事録（案）の確認（12 月 17 日開催） 【審議事項】 1. 令和 4 年度事業計画及び収支予算について (1) 令和 4 年度事業計画（案） (2) 令和 4 年度収支予算（案） 2. 役員（監事）の選任案について 3. 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について 4. 通常理事会等の開催について（2 月 25 日開催） 5. NPO 法人腎臓サポート協会からの寄付のお願いについて 6. 新規入会者について 【報告事項】 1. 令和 4 年度診療報酬改定の動向について 2. 腎代替療法専門指導士について 3. 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について 4. 令和 3 年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業） 第 2 回班会議について（12 月 20 日 WEB 開催） 5. 会員数について（12 月 31 日現在） 6. 厚生労働科学研究費補助金（指定研究）について 7. その他	承認 承認 承認 承認 承認 一部修正の上承認 継続審議 承認
令和 4 年 2 月 25 日 第 10 回常任理事会 （WEB 会議）	・前回会議の議事録（案）の確認（1 月 21 日開催） 【審議事項】 1. 本日開催する通常理事会について 2. 通常総会及び 2022 年度春期研修セミナー（東京開催）の開催について （5 月 15 日開催） 3. HIV 透析ネットワークについて	承認 承認 承認 承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
	【報告事項】 - 令和３年度仮決算について - 令和４年度診療報酬改定の動向について - 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について - 委員会報告 - 研究助成審査委員会（１月２１日 WEB 開催） - 会誌編集委員会（２月４日 WEB 開催） - 会員数について（１月３１日現在） - その他 「透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数」に関する集計業務について - 不審メールについて - 次回の常任理事会について（３月２５日開催）	継続審議 承認
令和４年３月２５日 第１１回常任理事会 （WEB 会議）	・前回会議の議事録（案）の確認（２月２５日開催） 【審議事項】 - 常任理事会及び通常理事会の開催について（４月１５日開催） - 通常総会について（５月１５日開催） - 会長及び業務執行理事の職務の執行状況報告について 「透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数」の集計業務について - 在宅血液透析指導管理料について - 新規入会者について 【報告事項】 - 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について - 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について - 新型コロナウイルス感染症に関連する診療報酬請求について - 委員会報告 - 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ・透析医療研究会（３月１日 WEB 開催） - 厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）について - 令和３年度第３回研究班会議（３月２２日 WEB 開催） - 令和４年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）に係る研究課題の評価結果について - 会員数について（２月２８日現在） - 慢性維持透析患者に対する透析中の運動療法について（腎臓リハビリテーション） - 今後の事務局体制について	承認 承認 承認 承認 一部修正の上承認 承認 承認

(4) 委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
標準透析療法委員会 令和3年9月11日 (支部長会・WEB会議)	- 第25回透析医療費実態調査について - 令和4年度診療報酬改定の動向について - 外来機能報告制度について - 透析排水管理に関する諸問題について - 新型コロナウイルス感染症への取組状況等について - 令和3年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）について	報告 報告 報告 報告 報告 報告
腎不全対策委員会 CKD 対策部会 血液透析患者実態調査検討 ワーキンググループ 令和3年6月15日 (WEB会議) 令和3年11月30日 (WEB会議) 令和4年3月1日 (WEB会議)	2021年度血液透析患者実態調査「全国透析患者の医療・福祉ニーズに関する調査」について - 既存データの分析について - その他	承認 報告
会誌編集委員会 令和3年6月11日 (WEB会議) 令和3年10月8日 (WEB会議) 令和4年2月4日 (WEB会議)	36巻1号について 36巻2号について（進捗状況） 36巻3号について（企画・方針） - 日本透析医会が発行する会誌等の転載許諾について - 年間予定について 36巻2号について 36巻3号について（進捗状況） 37巻1号について（企画・方針） - 日本透析医会雑誌投稿規程等の一部改正について - 年間予定について 36巻3号について 37巻1号について（進捗状況・学会案内） 37巻2号について（企画・方針） - 年間予定について	報告 報告 承認 承認 承認 報告 報告 承認 承認 承認 報告 報告 承認 承認
研修委員会 令和3年6月28日 (WEB会議) 令和3年12月2日 (WEB会議)	2021年度秋期研修セミナーについて（10月3日京都開催） 2022年度春期研修セミナーについて（5月15日東京開催） - 支部開催の研修会、講演会等の経費補助申請について 2021年度春期研修セミナー（WEB開催）について - 各支部開催の研修会、講演会等の経費補助について 2022年度秋期研修セミナーについて（10月9日高松開催） - 各支部開催の研修会・講演会の経費補助について（東京都透析医会） - 委員会から提出のあった企画案の取扱いについて 2022年度春期研修セミナーについて（5月15日東京開催） - 各支部開催の研修会、講演会の経費補助について	承認 承認 承認 報告 報告 承認 承認 承認 報告 報告
医療安全対策委員会 医療事故対策部会 令和3年8月11日 (WEB会議)	透析医療事故に関する全国調査について	承認

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
医療保険委員会 令和3年7月30日 (WEB会議)	1. 透析保険審査委員懇談会における主要検討項目について 2. 2022年診療報酬改定要望(案)について	承認 承認
研究助成審査委員会 令和4年1月21日 (WEB会議)	1. 研究助成申請に係る書面審査結果報告について 2. 研究助成申請課題の採否について	報告 承認
倫理審査委員会 令和3年9月29日 (WEB会議)	1. 「透析医療事故と医療安全に関する調査」の倫理審査について 2. 倫理審査委員会規程の一部改正について	条件付承認 承認

2. 事業の実施状況

公1 透析医療及び腎不全対策に関する調査研究、普及、教育研修事業

1. 調査研究事業

(1) 標準透析療法委員会

令和3年9月11日、WEB (Zoom) にて支部長会を開催し、44名が出席し、以下の議題について、詳細な説明・報告を行った後、質疑応答を行った。

- ・第25回透析医療費実態調査について
- ・令和4年度診療報酬改定の動向について
- ・外来機能報告制度について
- ・透析排水管理に関する諸問題について
- ・新型コロナウイルス感染症への取組状況等について
- ・令和3年度厚生労働科学研究費補助金(腎疾患政策研究事業)について

(2) 腎不全対策委員会

1) CKD(慢性腎臓病)対策部会

- ① 厚生労働省が定めた令和3年度臓器移植普及推進月間について、主催の一団体として参画し、臓器移植推進国民大会を後援した。
- ② (公社)日本臓器移植ネットワーク運営事業に参画し、腎移植の普及推進に協力した。
- ③ 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループにおいて、血液透析患者実態調査「全国透析患者の医療・福祉ニーズに関する調査」を実施し、その調査結果データを分析し、今後の対応等について検討した。
- ④ 令和3年11月に一般社団法人日本腎代替療法医療専門職推進協会の理事に宍戸専務理事が就任し、当協会の事業運営に参画した。

2) 在宅血液透析部会

在宅血液透析部会の下に設置したワーキンググループにおいて、「在宅血液透析管理マニュアル」(平成22年2月発刊)の改訂版を令和2年8月31日に発行した。また、この概要については、日本透析医学会雑誌(Vol.36-No.1)に掲載した。

(3) 医療経済委員会

1) 制度調査部会

令和3年7月、第25回透析医療費実態調査を実施した。159施設の協力を得て、6月分の外来透析診

療のレセプト情報を WEB システムにより集計及び分析した。

有効レセプト数は、全例 11,849 件（病院 5,236 件、診療所 6,613 件）であった。調査結果は、日本透析医会雑誌（Vol.36-No.3）に掲載した。

2) 経営検討部会

① 透析医療機関経営・施設実態調査（2 年に 1 回実施）

令和 3 年 7 月、透析医療機関の経営状況を把握するため、「透析医療機関経営・施設実態調査 2021」を実施した。協力医療法人は 207 法人であった。調査結果は、令和 4 年度診療報酬改定に関する要望の際の参考とした。

② 透析排水管理に関する諸問題

透析排水管理に関する諸問題については、平成 30 年 7 月に東京都下水道局より指摘を受けて、これまで会告や勧告を発出してきた。また、透析関連 3 団体である日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本透析医会の委員（当会：専務理事）で構成する「透析排水管理ワーキンググループ」において、これまで具体的な対策等に取り組んできたところであり、その内容はホームページや日本透析医会雑誌において関係者に周知してきたところである。

これ以降、当問題について、東京都下水道局と協議しつつ、令和 3 年 2 月に東京都下水道局から下水排除基準を超える透析医療機関における除害施設等の導入に関する届出の流れと暫定的な対応「透析排水管理に必要な除害施設の導入：東京都 23 区内を例として」を令和 3 年 3 月 1 日にホームページに掲載するとともに、日本透析医会雑誌（Vol.36-No.1）に掲載し、各地域における対応の参考とした。

(4) 医療保険委員会

令和 3 年 7 月 30 日、WEB（Zoom）にて医療保険委員会を開催し、第 26 回透析保険審査委員懇談会（9 月 11 日 WEB 開催）における主要検討項目及び令和 4 年度診療報酬改定に関する要望（案）について詳細に説明した後、質疑応答を行った。

令和 3 年 9 月 11 日、WEB（Zoom）にて第 26 回透析保険審査委員懇談会を開催し、全国の保険審査委員 87 名が参加した。当日は、事前に実施したアンケート（検討事項、要望事項等）に基づき、基本診療料、医学管理、検査・画像、投薬・注射、処置、手術の診療行為別に討論を行った。その詳細な報告については、日本透析医会雑誌（Vol.37-No.1）に掲載する予定である。

(5) 介護保険委員会

入居を必要とする透析患者の入居施設への受入れが進んでいない状況を踏まえ、入居施設が抱く不安や諸問題を理解し、介護と医療の連携改善を図る目的で、平成 30 年 8 月に実施した「介護入居施設からみた透析患者や透析医療に関する意識調査および実態調査」等をもとに要介護問題を含め、高齢透析患者の抱える問題を明らかにし、高齢透析患者が幸せな生活が送れる医療・介護体制の構築に向けて検討を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和 4 年度において検討することとしている。

(6) 透析医療の中長期的な在り方検討委員会

透析医療の中長期的な在り方検討委員会の下に、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本腎不全看護学会から推薦された委員で構成する次の二つのワーキンググループを設置した。

① 透析医療におけるチーム医療に関する検討ワーキンググループ

「透析医療における職種別業務分担に関する調査報告」（平成 24 年調査実施、日本医会雑誌 Vol.27-No.1 にて報告）をもとに、今後の透析医療の提供体制における看護師及び臨床工学技士の担うべき

役割等について医師のタスクシフティングの観点からの検討を行い、透析医療に関する職種別業務分担（診療補助行為）について検討を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和4年度において検討することとしている。

② 透析医療の自主機能評価指標に関する検討ワーキンググループ

透析医療の自主機能評価指標（平成26年3月）の項目等の見直しを行い、日本透析医学会、日本臨床工学技士会及び日本腎不全看護学会との連携のもとに、令和2年7月に透析医療施設に対して同指標の公表について理解・協力を求め、公表した施設については、随時、当会ホームページに施設名を掲載している。

2. 普及事業

(1) 会誌編集委員会

① 機関誌の発刊

「日本透析医会雑誌」Vol.36-No.1（4月）、Vol.36-No.2（8月）、Vol.36-No.3（12月）の3巻を発行した。

② 機関誌の充実

- ・透析医療にかかわる経済的問題・制度及び医療安全・災害・感染症（特に新型コロナウイルス感染症に重点）等への対策を重要課題とし、また透析医療に関する最新・話題の学術論文の提供、各種実態調査報告等をタイムリーに提供するため、企画・検討し、機関誌に掲載した。
- ・病理組織、災害状況などの図表・写真のカラー化を進めるなど、機関誌の充実を図った。
- ・透析患者に関する新型コロナウイルス感染症の症例報告を募集し、その論文を掲載した。

③ 研修セミナー等の案内を機関誌に掲載し、各種学術情報を提供した。

3. 教育研修事業

(1) 研修委員会

1) 研修セミナー

① 2021年度研修セミナーの開催状況

ア. 春期（WEB開催）

2021年5月16日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえWEB（動画配信）で開催した。

- ・主 題：我が国の透析医療を巡る・・・今
- ・配信期間：2021年4月28日（水）～5月31日（月）
- ・参加者数：5演題で述べ1,181名（1演題当たり236名）

イ. 秋期（WEB開催）

2021年10月3日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、WEB（動画配信）で開催した。

- ・主 題：腎不全・透析医療が日常的に遭遇する諸課題
- ・配信期間：2021年11月4日（木）～12月6日（月）
- ・参加者数：5演題で述べ787名（1演題当たり157名）

② 2022年度研修セミナーの開催予定

ア. 春期（東京開催）

2022年5月15日（日）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえWEB（動画配信）で開催することとしている。

- ・主 題：透析医療・・・ポストコロナへの処方箋
- ・配信期間：2022年6月1日（水）～6月30日（木）

イ．秋期（高松開催）

※秋期研修セミナーについては、対面での開催を計画しているが、新型コロナウイルス感染症の動向によっては、WEB（動画配信）での開催も考慮する。

- ・主 題：透析療法 Up To Date
- ・開催日：2022年10月9日（日）
- ・会 場：JR ホテルクレメント高松（香川県高松市）

2) 地域医療システム確立のための都道府県単位で開催される研修会への経費補助

支部（都道府県透析医会）が開催した以下の研修会・講演会（10支部・10件）に対し、経費の助成を行った。

- ・青森県透析医会 「第44回青森人工透析研究会」
- ・静岡県透析医会 「第58回静岡県腎不全研究会」
- ・福島県透析医会 「日本透析医会福島県支部学術集会（WEB開催）」
- ・福岡県透析医会 「第67回福岡市透析集談会（WEB開催）」
- ・鹿児島県透析医会 「鹿児島県透析医学学術講演会（WEB開催）」
- ・長野県透析医会 「第69回長野県透析研究会学術集会（WEB開催）」
- ・大阪透析医会 「大阪透析医会講演会」
- ・宮城県透析医会 「第49回宮城県腎不全研究会（WEB開催）」
- ・神奈川県透析医会 「第5回神奈川県透析医会総会・学術講演会（WEB開催）」
- ・東京都透析医会 「第49回東京透析研究会」

公2 透析医療及び腎不全対策に関する研究助成事業

1. 公募助成事業

(1) 研究助成審査委員会

公募研究助成の申請のあった28件について、研究助成審査委員会において厳正なる審査を行い、理事会の承認を経て以下のとおり決定した（14件・総額19,690千円）。

- | | |
|---|----------|
| ・透析患者における抗血栓療法に関する臨床研究
（兵庫県透析医会/神戸大学医学部附属病院腎臓内科 河野 圭志） | 1,000 千円 |
| ・ヒストン修飾による腹膜中皮細胞の老化を介した腹膜線維化の機序の解明
（広島大学病院 腎臓内科 正木 崇生） | 1,500 千円 |
| ・慢性腎病患者の血管合併症に対する新規治療の検証
（日本医科大学附属病院 腎臓内科 谷 崇） | 830 千円 |
| ・腹膜透析患者における腹膜線維化/石灰化の病態機序解明
～ CPPs による腹膜炎の進展とマグネシウムの抗炎症効果～
（九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科 山田 俊輔） | 1,400 千円 |
| ・PTH 過剰の骨微細構造への作用の解析
（昭和大学医学部内科学講座 腎臓内科学部門 井芹 健） | 2,000 千円 |
| ・腹膜透析治療がもたらす補体を中心とした免疫調節機構への影響
（名古屋大学大学院医学系研究科 腎不全システム治療学寄附講座 水野 正司） | 1,500 千円 |

- 腹膜透析におけるマクロファージの p38MARK の意義の解明 1,400 千円
(京都大学 腎臓内科 横井 秀基)
- SARS-CoV-2 感染症が腎臓に与える影響メカニズムの解明 2,000 千円
(大阪大学大学院薬学研究科 臨床薬効解析学分野 尾花 理徳)
- IgA 腎症における扁桃腺組織解析に着目した病態解明 1,400 千円
(東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 川邊 万佑子)
- 内皮細胞の heterogeneity に着目した糸球体疾患の障害・修復機構の解明 1,000 千円
(日本医科大学附属病院 腎臓内科 三井 亜希子)
- ポドサイト障害スコアリングシステムの開発 1,200 千円
(福島県立医科大学 腎臓高血圧内科学講座 東 淳子)
- 心臓血管手術における急性腎障害発症の要因分析 2,100 千円
(熊本大学医学部附属病院 総合臨床研究部研究展開センター 森永 潤)
- 腎糸球体障害の新規治療ターゲットとしての異所性発現型 FABP4 1,460 千円
(札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 古橋 真人)
- 科学的根拠に基づく血液透析システム用洗浄消毒法の選択 900 千円
(越谷大袋クリニック 大藺 英一)

公3 透析医療及び腎不全対策に関する安全対策事業

1. 災害対策事業

(1) 災害時透析医療対策委員会

① 第22回災害時情報ネットワーク会議

令和3年7月8日にWEB (Zoom) にて第22回災害時情報ネットワーク会議が開催され、関係者105名が出席し、2020年度活動報告及び2021年度活動計画が承認された。

② 第22回災害時情報伝達訓練

令和3年9月1日、地域における情報伝達網を活用して、地域情報伝達用ホームページ又は本部ホームページに施設情報の登録を依頼し、44都道府県で計2,171施設が参加した。

③ 災害時の対応

〈災害時情報活動〉

以下の大規模災害（地震：震度6弱*以上、風水害、火山活動等）に対応して、災害時情報メーリングリスト (Joho_mail) を活用して災害時情報活動を行った。

(厚生労働省健康局からの災害時情報ネットワークによる情報提供依頼を含む。)

- 令和3年 5月20日 九州南部を中心とする線状降水帯形成による大雨

7月 1日 梅雨前線の活動活発化に伴う大雨（西日本から東日本の太平洋側）
(静岡県熱海市の土石流)

8月 6日 台風9号・10号接近に伴う高波、大雨、暴風

12日 日本付近に停滞する前線の影響による大雨（西日本から北日本）

9月10日 台風14号に伴う強風・大雨

16日 石川県能登地方を震源とする地震（震度5弱）

28日 台風16号に伴う強風・大雨

10月 3日 和歌山市の「紀の川」にかかる水管橋の一部崩落による和歌山市北部の断水

6日 青森における地震（震度5強）

7日 千葉県北西部地震（震度5強）

- 10月20日 阿蘇山の噴火
- 12月3日 山梨県東部・富士五湖を震源とする地震（震度5弱）
- 9日 鹿児島県トカラ列島近海を震源とする地震（震度5強）
- 24日 強い冬型の気圧配置の影響による日本海側を中心とした大雪
- ・令和4年1月4日 父島近海を震源とする地震（震度5強）
- 16日 トンガ諸島の火山噴火による津波
- 22日 九州地方（日向灘）を震源とする地震（震度5強）
- 2月8日 甲信地方南部や関東地方での大雪
- 13日 関東甲信等広い範囲での大雪
- 24日 阿蘇山の火山活動
- 3月16日 福島県沖を震源とする地震（震度6強）
- 18日 岩手県沖を震源とする地震（震度5強）
- 22日 東京電力管内及び東北電力管内の電力需給ひっ迫警報

※地震発生時の情報収集開始震度の変更：震度5強→震度6弱

〔第19回災害時情報ネットワーク会議（平成30年6月29日）決定〕

- ④ 災害時情報ネットワークの保守・管理（システム及びメーリングリスト）
- ⑤ JHAT（日本災害時透析医療協働支援チーム）への参画，協力

- (2) 令和3年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）について
（令和2年度～令和4年度の研究事業）

山川智之副会長が研究代表者として，研究分担者5名とともに令和3年度厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）における研究課題「慢性腎臓病患者（透析患者等を含む）に特有の健康課題に適合した災害時診療体制の確保に資する研究」に取り組み，その研究内容を令和3年度研究年度終了報告書として発表した（令和4年3月31日発行）。

2. 医療安全対策事業

(1) 医療安全対策委員会

1) 医療事故対策部会

平成25年度において透析医療事故の実態を把握するため，「透析医療事故の定義と報告制度に関する調査」を実施したが，当調査から8年が経過し，その間透析医療の進歩等により事故内容も変化していることから，令和3年度において日本透析医学会と共同で，各透析施設において2021年に発生した透析医療事故と医療安全に関する調査を実施した。

その分析・報告書の作成等については，令和4年度に行うこととしている。また，その分析結果を踏まえ，「透析医療事故防止のための標準的透析操作マニュアル（平成13年12月発行）」及び「透析医療機関における医薬品・医療機器安全管理への対応マニュアル（平成20年4月発行）」の見直しも検討する。

2) 感染防止対策部会

新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループにおいて，日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会新型コロナウイルス感染対策合同委員会と連携し，新型コロナウイルス感染症患者数及び重症度，致死率の把握に努め，会員にこの情報を啓発している。

なお，詳細なこれまでの取組状況等については，次表のとおりである。

新型コロナウイルス感染症への取組状況

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
2021 年 4 月 2 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 4 月 1 日時点）（HP）
		【動画配信】 新型コロナウイルスワクチンについての e-ラーニング動画 「新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの効果と副反応～透析患者や医療従事者へのワクチン接種に関する Q & A を含めて～」
		「COVID-19 ワクチンの普及と開発に関する提言」（日本医学会連合 診療ガイドライン検討委員会）
5 日		透析患者における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン接種に関する Q & A について
6 日	【論文紹介 37】 「透析患者のメンタルヘルスへの COVID-19 の影響」（HP）	
9 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 4 月 8 日時点）（HP）
13 日	【論文紹介 38】 「血液透析患者における SARS-CoV-2 感染への免疫反応の持続性と再感染に対する予防効果」（HP）	
16 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 4 月 15 日時点）（HP）
21 日	【論文紹介 39】 「透析患者におけるファイザー社の mRNA ワクチン接種後の抗体保有率」（HP）	
23 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 4 月 22 日時点）（HP）
27 日	【論文紹介 40】 「ESKD 患者に対する COVID-19 の初期効果」（HP）	
30 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 4 月 29 日時点）（HP）
5 月 7 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 5 月 6 日時点）（HP）
11 日	【論文紹介 41】 「維持血液透析患者におけるファイザー社 BNT162b2 ワクチンの液性免疫反応」（HP）	
14 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 5 月 13 日時点）（HP）
18 日	【論文紹介 42】 「COVID-19 パンデミック時の重症患者の急性腎障害に対する 3 つの腎代替療法（持続的血液濾過透析，腹膜透析，血液透析）の提供」（HP）	
21 日	「透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数について（お願い）」（支部長あて）	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 5 月 20 日時点）（HP）
26 日	【論文紹介 43】 「B.1.351 変異株に対する ChAdOx1 nCoV-19 ワクチンの有効性」（HP）	
28 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2021 年 5 月 27 日時点）（HP）

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
6月 1日	【論文紹介 44】 「維持血液透析中の COVID-19 患者におけるレムデシベルの使用：安全性と忍容性」(HP)	
4日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年6月3日時点)(HP)
8日	【論文紹介 45】 「ChAdOx1 nCoV-19 ワクチン後の血栓症・血小板減少症」(HP)	
11日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年6月10日時点)(HP)
15日	【論文紹介 46】 「維持透析患者における SARS-CoV-2 の受容体結合ドメイン抗体の持続性に関する前向き研究」(HP)	
18日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年6月17日時点)(HP)
22日	【論文紹介 47】 「在宅透析患者と施設透析患者における COVID-19 の予後と疫学についての比較」(HP)	
25日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年6月24日時点)(HP) 【厚生労働大臣あての要望】(山本副大臣) 「透析患者に対する新型コロナワクチン接種に関する要望」(令和3年6月25日付け要望書) (日本透析医学会・日本透析医会・日本腎臓学会)
29日	【論文紹介 48】 「COVID-19 肺炎の入院患者に対するトファシチニブ効果」(HP)	
7月 2日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年7月1日時点)(HP)
6日	【論文紹介 49】 「腎不全患者におけるレニン・アンジオテンシン系阻害薬と COVID-19 関連死亡のリスク」(HP)	
9日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年7月8日時点)(HP)
13日	【論文紹介 50】 「血液透析および腎移植患者を対象とした SARS-CoV-2 mRNA ワクチン接種後の液性反応」(HP)	
16日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年7月15日時点)(HP) 【厚生労働大臣あての要望】(山本副大臣) 「透析患者に対する新型コロナワクチン接種に関する要望」(令和3年7月5日付け要望書) (日本腎代替療法医療専門職推進協会・日本透析医学会・日本透析医会・日本腎臓学会)
19日	透析患者への新型コロナワクチンの接種体制の確保について(HP)	
20日	【論文紹介 51】 「維持透析患者における抗体、病歴と COVID-19 の罹患」(HP)	
26日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年7月22日時点)(HP)

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
27日	【論文紹介 52】 「D-ダイマー濃度上昇を認めた COVID-19 入院患者に対する治療的抗凝固療法と予防的抗凝固療法の比較」(HP)	
30日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 7 月 29 日時点) (HP)
8月 2日		透析患者における新型コロナウイルス感染者 (COVID-19) の入院調整の現状と透析施設へのお願い (HP)
3日	【論文紹介 53】 「軽度と中等度の COVID-19 に対する Bamlanivimab + Etesevimab の効果」(HP)	
6日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 8 月 5 日時点) (HP)
10日	【論文紹介 54】 「医療従事者における BNT162b2 の予防接種による症候性、無症候性 SARS-CoV-2 感染の発症率の影響」(HP)	
13日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 8 月 12 日時点) (HP)
16日	透析患者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の入院調整について (HP)	
20日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 8 月 19 日時点) (HP)
24日	【論文紹介 55】 「慢性腎臓病患者における COVID-19 の臨床像のまとめ (メタ解析)」(HP)	
27日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 8 月 26 日時点) (HP)
31日	【論文紹介 56】 「COVID-19 に対する血漿交換の有効性について」(HP)	
9月 2日		【厚生労働大臣あての要望】(山本副大臣) 「透析患者に対する抗体カクテル療法に関する要望」 (日本腎代替療法医療専門職推進協会・日本透析医学会・日本透析医会・日本腎臓学会)
3日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 9 月 2 日時点) (HP)
7日	【論文紹介 57】 「血液透析患者における COVID-19 に関連した臨床・検査所見の推移」(HP)	
10日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 9 月 9 日時点) (HP)
14日	【論文紹介 58】 「SARS-CoV-2 未感染の血液透析患者における SARS-CoV-2 mRNA ワクチンに対する液性および細胞性免疫反応」(HP)	
17日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 9 月 16 日時点) (HP)
21日	【論文紹介 59】 「mRNA COVID-19 ワクチンのアレルギーおよびアナフィラキシー反応の評価」(HP)	
24日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 9 月 23 日時点) (HP)

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
28日	【論文紹介 60】 「ロンドンの血液透析患者における COVID-19 疾患のリスク、透析施設の属性、および感染制御戦略」(HP)	
10月 1日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年9月30日時点)(HP) 無床診療所での抗体カクテル療法の使用について(HP)
8日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年10月7日時点)(HP)
11日		【RRT掲載】 「Survival and Predictive Factors in Dialysis Patients with COVID-19 in Japan : A Nationwide Cohort Study」 (筆頭著者：菊地 勘)
15日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年10月14日時点)(HP)
22日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年10月21日時点)(HP)
26日	【論文紹介 61】 「酸素投与を必要としない COVID-19 患者における副腎皮質ステロイド使用：システマティックレビューとメタ解析」(HP)	
29日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年10月28日時点)(HP)
11月 5日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年11月4日時点)(HP)
9日	【論文紹介 62】 「イスラエルでの BNT162b2 ワクチン接種後の免疫力の低下」(HP)	
12日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年11月11日時点)(HP)
17日 (郵送)		【厚生労働大臣あての要望】(11月15日付け要望書) 「慢性腎臓病患者(透析患者含む)および腎移植患者に対する暴露前の抗体療法予防投与に関する要望書」 (日本腎代替療法医療専門職推進協会・日本透析医学会・日本透析医会・日本腎臓学会)
20日 (持参)		
19日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年11月18日時点)(HP)
24日	【論文紹介 63】 「本邦の透析患者におけるレムデシビル投与による生命予後の改善効果」(HP)	
26日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年11月25日時点)(HP)
12月 3日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年12月2日時点)(HP)
7日	【論文紹介 64】 「COVID-19 の予測バイオマーカーとしての血清フェリチン—系統的レビュー, メタ解析, メタ回帰分析—」(HP)	
10日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年12月9日時点)(HP)
17日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数(2021年12月16日時点)(HP)

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
21 日	【論文紹介 65】 「ChAdOx1 nCov-19 または BNT162b2 の 2 回の接種後に 3 回目の投与として異なる COVID-19 ワクチンを投与した場合の安全性と免疫原性の比較」(HP)	
24 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2021 年 12 月 23 日時点) (HP)
2022 年 1 月 7 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 1 月 6 日時点) (HP)
11 日		新型コロナウイルス患者数増加にともなう透析施設における対応と透析患者の透析医療の確保について (HP)
14 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 1 月 13 日時点) (HP)
		透析施設における新型コロナウイルス感染症の症例報告様式の一部変更について
18 日	【論文紹介 66】 「血液透析患者における BNT162b2 と mRNA-1273 SARS-CoV-2 ワクチンのリアルワールドでの有効性と免疫原性」(HP)	
21 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 1 月 20 日時点) (HP)
28 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 1 月 27 日時点) (HP)
2 月 4 日	【論文紹介 67】 「BNT162b2 ワクチンのブースター接種の全年齢層にわたる COVID-19 に対する予防効果」(HP)	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 2 月 3 日時点) (HP)
10 日		オミクロン株の感染拡大を踏まえた透析患者に対する適切な医療提供体制の確保について (お願い) (HP)
14 日	ニルマトレルビル/リトナビル (商品名: パキロビッドバック) の重要な注意点および適正使用について (HP)	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 2 月 10 日時点) (HP)
	【WEB 講演会: 2 月 19 日開催】 「透析患者における新型コロナウイルス感染症の現況と医療提供体制の確保および感染対策」	
15 日	【論文紹介 68】 「COVID-19 患者の呼吸不全に対する非侵襲的な酸素投与について」(HP)	
18 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 2 月 17 日時点) (HP)
25 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 2 月 24 日時点) (HP)
3 月 4 日	【論文紹介 69】 「維持透析患者における SARS-CoV-2 ワクチン接種後 6 ヶ月間の血清抗体反応の推移」(HP)	透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 3 月 3 日時点) (HP)
11 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 3 月 10 日時点) (HP)
15 日	【論文紹介 70】 「血液透析患者の COVID-19 予防に対する mRNA ワクチン (BNT162b2) とアデノウイルスベクターワクチン (Ad26.COV2.S) の効果比較研究」(HP)	
18 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数 (2022 年 3 月 17 日時点) (HP)

年月日	日本透析医会 新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ	日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会 新型コロナウイルス感染対策合同委員会
25 日		透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者の登録数（2022 年 3 月 24 日時点）（HP）
29 日	【論文紹介 71】 「9 ヶ国における COVID-19 における医学教育とメンタルヘルス」（HP）	

その他の事業

情報管理委員会

- ホームページの運用・管理を行い、次の情報をホームページに掲載し情報発信した。
（新型コロナウイルス感染症関連の掲載は、前項感染防止対策部会の「（表）新型コロナウイルス感染症への取組状況」を参照）
（令和 3 年）

- 4 月 19 日 春期研修セミナー抄録集
- 26 日 東京都臨床工学技士会主催「水質管理責任者指定講習」のご案内
通常総会について（ご案内）
- 28 日 日本透析医会雑誌（36 巻 1 号）
春期研修セミナー動画配信（配信期間：4 月 28 日～5 月 31 日）
- 5 月 7 日 透析医療の自主機能評価指標の公開施設一覧（2021 年 5 月 1 日現在）
- 14 日 令和 3 年度日本透析医会公募研究助成金の申請について（案内）
- 17 日 令和 2 年度事業報告・財務諸表、役員名簿
- 18 日 COVID-19 対策の実情についての報告書（8 施設の調査結果）
（令和 2 年度厚生労働科学特別研究事業（研究代表者：南学正臣））
- 6 月 7 日 春期研修セミナー（WEB 開催）の配信期間終了について
春期研修セミナー DVD の貸出しについて
- 7 月 1 日 厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）「慢性腎臓病患者（透析患者等を含む）
に特有の健康課題に適合した災害時診療体制の確保に資する研究」令和 2 年度研究年度終了
報告書
- 15 日 秋期研修セミナー（WEB 開催）について（ご案内）
- 8 月 2 日 日本透析医会委員会（部会）名簿
- 20 日 血液失血事故防止に関する注意喚起
- 9 月 1 日 日本透析医会雑誌（36 巻 2 号）
- 10 月 4 日 厚生労働科学研究費補助金（腎疾患政策研究事業）
「災害時透析医療体制に関するアンケート調査について（お願い）」
- 25 日 秋期研修セミナー（WEB 開催）抄録集の掲載について
- 11 月 4 日 秋期研修セミナーの動画配信（配信期間：11 月 4 日～12 月 6 日）
- 12 月 2 日 透析医療の自主機能評価指標の公開施設一覧（2021 年 12 月 1 日現在）
- 3 日 透析医療事故と医療安全に関する調査について（お願い）
- 7 日 日本透析医会秋期研修セミナー（WEB 開催）配信期間終了について
秋期研修セミナー（WEB 開催）DVD の貸出しについて
- 12 月 28 日 日本透析医会雑誌（36 巻 3 号）

(令和4年)

- 1月4日 腎代替療法専門指導士について(お知らせ)
- 5日 腎代替療法専門指導士に関するお知らせ(追加)
- 2月1日 日本腎代替療法医療専門職推進協会の入会の受付について(ご案内)
- 3月9日 Emotet と呼ばれるウイルスへの感染を狙う不審メールについて
- 25日 令和4年度事業計画・収支予算について
- 令和3年度公募研究助成の審査結果について

3. 会務報告

(1) 厚生労働省との意見交換等

※COVID-19 関連は、医療安全対策事業の感染防止対策部会の取組状況に記載

(令和3年)

- 8月31日 厚生労働省訪問
 - 〔訪問先〕 保険局医療課長
 - 〔内 容〕 令和4年度診療報酬改定について
 - 〔当 会〕 秋澤会長, 太田副会長, 山川副会長
- 8月31日 厚生労働省訪問
 - 〔訪問先〕 医政局総務課企画官
 - 〔内 容〕 「医療資源を重点的に活用する外来」における透析医療の扱いについて
 - 〔当 会〕 秋澤会長, 太田副会長, 山川副会長
- 12月9日 厚生労働省(WEB面談)
 - 〔面談者〕 保険局医療課課長補佐 他
 - 〔内 容〕 令和4年度診療報酬改定について
 - 〔当 会〕 太田副会長
- 12月23日 厚生労働省(WEB面談)
 - 〔面談者〕 保険局医療課課長補佐 他
 - 〔内 容〕 令和4年度診療報酬改定について
 - 〔当 会〕 太田副会長

(令和4年)

- 1月17日 厚生労働省訪問
 - 〔訪問先〕 保険局医療課課長補佐 他
 - 〔内 容〕 令和4年度診療報酬改定について
 - 〔当 会〕 太田副会長
- 1月17日 厚生労働省(WEB会議)
 - 〔担 当〕 医政局研究開発振興課
 - 〔内 容〕 厚生労働科学研究費補助金(指定研究)「特定分野における次世代の医療情報標準規格の策定のための研究」に関する会議
 - 〔当 会〕 山川副会長

※この他にも、診療報酬等に関して必要に応じて担当者と電話及びメールにより意見交換等を行った。

(2) その他の会務報告

(令和3年)

4月8日 監事監査：岩崎監事

5月19日 後援：(公社)日本臨床工学技士会「2021年度【eラーニング】透析液安全管理責任者研修会」
～6月17日5月22日 後援：(公社)日本臨床工学技士会「第31回日本臨床工学会(熊本市)」
～23日 (オンデマンド配信：5月28日～6月10日)

6月17日 東京法務局あて申請：変更登記申請書(理事・監事の変更)

24日 「第25回透析医療費実態調査」実施(221施設あて依頼)

30日 内閣総理大臣(内閣府)あて提出：変更届出書(理事・監事の変更)
内閣総理大臣(内閣府)あて提出：令和2年度事業報告等

7月15日 「透析医療機関経営・施設実態調査2021」実施(594法人に依頼)

10月1日 共催：厚生労働省「令和3年度臓器移植普及推進月間」
～31日

22日 監事監査：岩崎監事

令和3年度中間決算実施

24日 後援：第22回臓器移植推進国民大会(長崎県長崎市)

12月14日 後援：(公社)日本臨床工学技士会「2021年度【eラーニング】透析液安全管理責任者研修会」
～1月12日

(令和4年)

1月21日 監事監査：岩崎監事

3月1日 後援：(公社)日本臨床工学技士会「2021年度【eラーニング】透析液安全管理責任者研修会」
～30日

20日 後援：NPO法人東京腎臓病協議会「第33回腎臓病を考える都民の集い」

31日 内閣総理大臣(内閣府)あて提出：令和4年度事業計画・収支予算

Ⅱ. 法人の概況

1. 役員に関する事項

(1) 理事

令和4年3月31日現在

役職名	氏 名	現 職
会 長	秋澤 忠男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
副 会 長	太田 圭洋	社会医療法人名古屋記念財団 理事長（名古屋記念病院）
〃	山川 智之	特定医療法人仁真会 理事長（白鷺病院）
専務理事	穴戸 寛治	社会医療法人財団石心会 川崎クリニック 院長
常務理事	安藤 亮一	医療法人社団清湘会 清湘会東砂病院 副院長
〃	甲田 豊	医療法人社団甲田内科クリニック 理事長
〃	小林 真也	医療法人社団萌生舎 理事長（宮の沢腎泌尿器科クリニック）
〃	土谷晋一郎	特定医療法人あかね会 会長（土谷総合病院）
〃	百武 宏幸	医療法人百武医院 理事長
理 事	東 仲宣	特定医療法人財団松圓会 理事長（東葛クリニック病院）
〃	伊藤 孝史	島根大学医学部附属病院腎臓内科 診療教授
〃	今田 直樹	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院 副院長
〃	加藤 明彦	浜松医科大学医学部附属病院血液浄化療法部 病院教授
〃	菊地 勘	医療法人社団豊済会 理事長（下落合クリニック）
〃	久木山厚子	医療法人社団三村久木山会 理事長（宇土中央クリニック）
〃	久保 和雄	医療法人社団昇陽会 高円寺すずきクリニック 顧問
〃	隈 博政	医療法人明楽会 理事長（くまクリニック）
〃	黒田 重臣	くろだ明大前クリニック 院長
〃	酒井 謙	東邦大学医学部腎臓学講座 教授
〃	佐藤 壽伸	医療法人宏人会 統括顧問（中央クリニック）
〃	佐中 孜	医療法人社団鞠生会 メディカルプラザ市川駅 院長
〃	鈴木都美雄	医療法人鈴木泌尿器科 理事長
〃	戸澤 修平	医療法人社団北辰 理事長（クリニック1・9・8札幌）
〃	沼田 明	医療法人尚腎会 高知高須病院 副理事長・名誉院長
〃	比嘉 啓	医療法人麻の会 首里城下町クリニック第二 院長
〃	前田 憲志	医療法人有心会 大幸砂田橋クリニック 院長
〃	村上 秀一	医療法人三良会 理事長（村上新町病院）
〃	山下 達博	医療法人社団博寿会 理事長（山下医院）
〃	依藤 良一	医療法人社団仁成会 仁成クリニック

- すべて非常勤，無報酬
- 任期：令和3年5月16日から令和5年度通常総会の終結の時まで

(2) 監事

令和4年3月31日現在

監 事	岩崎 文昭 ^{※2}	鳥飼総合法律事務所 弁護士・公認会計士
〃	篠田 俊雄 ^{※1}	つくば国際大学医療保健学部医療技術学科 教授
〃	渡邊 有三 ^{※2}	春日井市民病院 統括顧問

- すべて非常勤，無報酬
- 任期：※1 令和3年5月16日から令和5年度通常総会の終結の時まで
 ※2 令和2年5月17日から令和4年度通常総会の終結の時まで

2. 会員に関する事項

会員区分※		令和2年度 (令和3年3月31日現在)	令和3年度 (令和4年3月31日現在)	増 減
A 会員	(1)	443 名	449 名	6 名
	(2)	157 名	152 名	-5 名
	(3)	84 名	83 名	-1 名
	(4)	53 名	53 名	0 名
B 会員	(1)	153 名	152 名	-1 名
	(2)	203 名	209 名	6 名
合 計		1,093 名	1,098 名	5 名

※会員区分について

A 会員：私的医療機関の管理者・透析部門責任者

(所属施設の透析機台数に応じ (1)～(4) に区分)

(1) 30 台以上 (2) 20～29 台 (3) 10～19 台 (4) 0 台～9 台

B 会員：公的医療機関の管理者・透析部門責任者及び勤務医

(1) 公的医療機関の管理者・透析部門責任者

(2) 勤務医

令和3年度事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

第 1 号議案

令和 3 年度財務諸表

1. 貸借対照表（令和 4 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	96,409	46,118	50,291
定期預金	880	700	180
普通預金	23,370,811	22,019,111	1,351,700
振替口座	948,484	6,362,014	△ 5,413,530
流動資産合計	24,416,584	28,427,943	△ 4,011,359
2. 固定資産			
(1) 基金			
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	202,004,889	0
基金合計	202,004,889	202,004,889	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,484,400	6,977,340	507,060
創立 40 周年記念事業積立資産	10,000,000	9,000,000	1,000,000
特定資産合計	17,484,400	15,977,340	1,507,060
(3) その他固定資産			
電話加入権	4	4	0
淡路建物ビル保証金	6,300,000	6,300,000	0
警備保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	6,350,004	6,350,004	0
固定資産合計	225,839,293	224,332,233	1,507,060
資産合計	250,255,877	252,760,176	△ 2,504,299
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	592,260	562,637	29,623
未払金	1,455,130	7,780,000	△ 6,324,870
流動負債合計	2,047,390	8,342,637	△ 6,295,247
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,484,400	6,977,340	507,060
固定負債合計	7,484,400	6,977,340	507,060
負債合計	9,531,790	15,319,977	△ 5,788,187
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	240,724,087	237,440,199	3,283,888
正味財産合計	240,724,087	237,440,199	3,283,888
負債及び正味財産合計	250,255,877	252,760,176	△ 2,504,299

2. 正味財産増減計算書（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 研究助成事業基金運用益 研究助成事業基金受取利息	4,040	20,255	△ 16,215
② 創立40周年記念事業運用益 創立40周年記念事業受取利息	180	700	△ 520
③ 受取入会金 受取入会金	270,000	90,000	180,000
④ 受取会費 受取会費	88,130,000	88,560,000	△ 430,000
⑤ 受取寄付金 受取寄付金	9,050,000	13,091,252	△ 4,041,252
⑥ 事業収益 研修セミナー共催金	0	0	0
研修セミナー参加費	0	0	0
⑦ 雑収益 受取利息	490	445	45
雑収入	3,505,959	2,692,813	813,146
経常収益計	100,960,669	104,455,465	△ 3,494,796
(2) 経常費用			
事業費			
調査研究、普及、教育研修事業	43,257,042	40,250,172	3,006,870
給与手当	6,972,811	8,050,859	△ 1,078,048
法定福利費	1,061,649	1,196,096	△ 134,447
人材派遣費	265,986	215,424	50,562
退職給付費用	202,824	205,092	△ 2,268
福利厚生費	29,313	40,365	△ 11,052
会議費	0	8,000	△ 8,000
旅費交通費	965,340	458,180	507,160
通信運搬費	1,145,409	1,673,760	△ 528,351
事務消耗品費	994,492	959,404	35,088
印刷製本費	14,359,728	16,714,588	△ 2,354,860
水道光熱費	85,681	80,883	4,798
家賃	1,809,255	1,685,640	123,615
原稿料	1,540,000	1,897,500	△ 357,500
講演料	1,113,700	668,220	445,480
諸会費	17,880	17,964	△ 84
警備等委託費	357,861	355,765	2,096
ホームページ管理費	351,560	411,180	△ 59,620
透析医療費実態調査費	1,780,080	2,807,292	△ 1,027,212
日本臓器移植ネットワーク会費	100,000	100,000	0
調査研究費	5,099,948	0	5,099,948
研修セミナー開催費	3,804,716	2,346,050	1,458,666
研修会等助成費	1,000,000	200,000	800,000
雑費	198,809	157,910	40,899
研究助成事業	26,380,947	24,258,861	2,122,086
給与手当	3,486,404	4,025,428	△ 539,024

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
法定福利費	530,824	598,048	△ 67,224
人材派遣費	132,994	107,712	25,282
退職給付費用	101,412	102,546	△ 1,134
福利厚生費	14,658	20,184	△ 5,526
旅費交通費	40,000	50,000	△ 10,000
通信運搬費	123,536	115,412	8,124
事務消耗品費	497,248	479,702	17,546
印刷製本費	122,498	34,816	87,682
水道光熱費	42,840	40,442	2,398
家賃	904,626	842,820	61,806
謝金	256,151	256,151	0
諸会費	8,940	8,982	△ 42
警備等委託費	178,932	177,884	1,048
ホームページ管理費	175,780	205,590	△ 29,810
研究助成費	19,690,000	17,130,000	2,560,000
雑費	74,104	63,144	10,960
安全対策事業	12,873,057	8,183,442	4,689,615
給与手当	1,743,202	2,012,714	△ 269,512
法定福利費	265,412	299,024	△ 33,612
人材派遣費	66,497	53,856	12,641
退職給付費用	50,706	51,273	△ 567
福利厚生費	7,329	10,092	△ 2,763
旅費交通費	283,800	25,000	258,800
通信運搬費	1,097,846	86,820	1,011,026
事務消耗品費	248,624	239,851	8,773
印刷製本費	891,221	736,148	155,073
調査研究費	2,992,000	—	2,992,000
水道光熱費	21,420	20,221	1,199
家賃	452,313	421,410	30,903
諸会費	4,470	4,491	△ 21
警備等委託費	89,466	88,942	524
原稿料	193,176	198,744	△ 5,568
謝金	567,991	0	567,991
ホームページ管理費	565,840	758,945	△ 193,105
システム管理費	2,629,692	2,479,339	150,353
災害発生時対応諸経費	665,000	665,000	0
雑費	37,052	31,572	5,480
事業費計	82,511,046	72,692,475	9,818,571
管理費			
給与手当	5,229,607	6,038,143	△ 808,536
法定福利費	796,236	897,072	△ 100,836
人材派遣費	199,490	161,568	37,922
退職給付費用	152,118	153,819	△ 1,701
福利厚生費	21,986	30,275	△ 8,289
会議費	264,110	73,020	191,090
常任理事会費	2,124,880	1,003,931	1,120,949
理事会費	612,800	258,300	354,500
総会費	1,155,944	1,290,538	△ 134,594
謝金	164,781	100,233	64,548
旅費交通費	110,860	36,520	74,340

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	185,305	173,117	12,188
事務消耗品費	745,871	719,553	26,318
印刷製本費	183,747	52,223	131,524
水道光熱費	64,261	60,662	3,599
家賃	1,356,940	1,264,230	92,710
会計委託費	1,100,000	1,100,000	0
警備等委託費	268,397	266,825	1,572
租税公課	1,600	2,600	△ 1,000
慶弔費	38,566	6,600	31,966
諸会費	13,410	13,473	△ 63
ホームページ管理費	263,670	308,385	△ 44,715
雑費	111,156	94,715	16,441
管理費計	15,165,735	14,105,802	1,059,933
経常費用計	97,676,781	86,798,277	10,878,504
当期経常増減額	3,283,888	17,657,188	△ 14,373,300
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,283,888	17,657,188	△ 14,373,300
一般正味財産期首残高	237,440,199	219,783,011	17,657,188
一般正味財産期末残高	240,724,087	237,440,199	3,283,888
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	240,724,087	237,440,199	3,283,888

3. 正味財産増減計算書内訳表（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

科 目		公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合 計
		調査研究、普及、 教育研修事業	研究助成事業	安全対策事業	公益共通			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
研究助成事業基金運用益		0	4,040	0	0	0	0	4,040
研究助成事業基金受取利息								
創立40周年記念事業運用益		0	180	0	0	0	0	180
創立40周年記念事業受取利息								
受取入会金		0	0	0	189,000	81,000	0	270,000
受取入会金								
受取会費		0	0	0	61,691,000	26,439,000	0	88,130,000
受取寄付金		0	0	0	9,050,000	0	0	9,050,000
受取寄付金								
事業収益								
研修セミナー共催費		0	0	0	0	0	0	0
研修セミナー参加費		0	0	0	0	0	0	0
雑収益								
受取利息		0	0	0	490	0	0	490
雑収入		0	0	0	3,505,959	0	0	3,505,959
経常収益計		0	4,220	0	74,436,449	26,520,000	0	100,960,669
(2) 経常費用								
事業費								
給与手当		6,972,811	3,486,404	1,743,202	0	0	0	12,202,417
法定福利費		1,061,649	530,824	265,412	0	0	0	1,857,885
人材派遣費		265,986	132,994	66,497	0	0	0	465,477
退職給付費用		202,824	101,412	50,706	0	0	0	354,942
福利厚生費		29,313	14,658	7,329	0	0	0	51,300
旅費交通費		965,340	40,000	283,800	0	0	0	1,289,140
通信運搬費		1,145,409	123,536	1,097,846	0	0	0	2,366,791
事務消耗品費		994,492	497,248	248,624	0	0	0	1,740,364
印刷製本費		14,359,728	122,498	891,221	0	0	0	15,373,447
水道光熱費		85,681	42,840	21,420	0	0	0	149,941
家賃		1,809,255	904,626	452,313	0	0	0	3,166,194
謝金		0	256,151	567,991	0	0	0	824,142
原稿料		1,540,000	0	193,176	0	0	0	1,733,176
講演料		1,113,700	0	0	0	0	0	1,113,700
諸会費		17,880	8,940	4,470	0	0	0	31,290
警備等委託費		357,861	178,932	89,466	0	0	0	626,259
ホームページ管理費		351,560	175,780	565,840	0	0	0	1,093,180
透析医療費実態調査費		1,780,080	0	0	0	0	0	1,780,080
日本臓器移植ネットワーク会費		100,000	0	0	0	0	0	100,000
調査研究費		5,099,948	0	2,992,000	0	0	0	8,091,948
研修セミナー開催費		3,804,716	0	0	0	0	0	3,804,716
研修会等助成費		1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000

4. 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 退職給付引当金の計上基準

期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上することとしている。

2) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高

基金、特定資産、その他の固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	0	0	202,004,889
小 計	202,004,889	0	0	202,004,889
特定資産				
退職給付引当資産	6,977,340	507,060	0	7,484,400
創立 40 周年記念事業積立資産	9,000,000	1,000,000	0	10,000,000
小 計	15,977,340	1,507,060	0	17,484,400
その他固定資産				
電話加入権	4	0	0	4
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0	0	6,300,000
警備保証金	50,000	0	0	50,000
小 計	6,350,004	0	0	6,350,004
合 計	224,332,233	1,507,060	0	225,839,293

(3) 基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳

基金、特定資産、その他の固定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	(0)	(202,004,889)	(0)
小 計	202,004,889	(0)	(202,004,889)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	7,484,400	(0)	(0)	(7,484,400)
創立 40 周年記念事業積立資産	10,000,000	(0)	(10,000,000)	(0)
小 計	17,484,400	(0)	(10,000,000)	(7,484,400)
その他の固定資産				
電話加入権	4	(0)	(4)	(0)
淡路建物ビル保証金	6,300,000	(0)	(6,300,000)	(0)
警備保証金	50,000	(0)	(50,000)	(0)
小 計	6,350,004	(0)	(6,350,004)	(0)
合 計	225,839,293	(0)	(218,354,893)	(7,484,400)

5. 附属明細書

(1) 基金，特定資産，その他の固定資産の明細

4. 財務諸表に対する注記（2）に記載している。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増減額	当期減少額		期末残高
			使用目的	その他	
退職給付引当金	6,977,340	507,060	0	0	7,484,400
合 計	6,977,340	507,060	0	0	7,484,400

6. 財産目録（令和４年３月３１日現在）

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
現金預金	現金	手元保管	運転資金として	96,409
	定期預金	三菱 UFJ 銀行	〃	880
	普通預金	りそな銀行	〃	183,779
		三菱 UFJ 銀行	〃	23,187,032
	振替口座	ゆうちょ銀行	〃	948,484
流動資産合計				24,416,584
(固定資産)				
基金	研究助成事業基金	三菱 UFJ 銀行	公益目的保有財産であり，運用益を研究助成事業に使用している	202,004,889
特定資産	定期預金	三菱 UFJ 銀行	職員退職金の支払財源として積み立てている	7,484,400
	退職給付引当資産		創立 40 周年記念事業の支払財源として積み立てている	10,000,000
その他固定資産	創立 40 周年記念事業積立資産	三菱 UFJ 銀行	〈特定資産合計〉	17,484,400
	電話加入権		共用財産であり，うち 70％ は公益の用に供し，30％ は管理運営の用に供している	4
	淡路建物ビル保証金	(有) 淡路建物ビル	〃	6,300,000
	警備保証金	セコム (株)	〃	50,000
〈その他固定資産合計〉				6,350,004
固定資産合計				225,839,293
資産合計				250,255,877
(流動負債)				
預り金	未払金	会員	会費（重複納入）の預り分	190,000
		職員	源泉所得税の未払い分	243,892
		〃	健康保険の未払い分	63,142
		〃	厚生年金の未払い分	95,226
		研究助成決定者（1 名分）	研究助成費の未払い分	1,400,000
		アンケート調査	通信運搬費の未払い分	55,130
流動負債合計				2,047,390
(固定負債)	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払に備えたもの	7,484,400
固定負債合計				7,484,400
負債合計				9,531,790
正味財産				240,724,087

監 査 報 告 書

令和4年4月8日

公益社団法人日本透析医会
会 長 秋 澤 忠 男 殿

公益社団法人日本透析医会

監 事 岩 崎 文 昭 ㊞

監 事 篠 田 俊 雄 ㊞

監 事 渡 邊 有 三 ㊞

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等（貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及びこれらの附属明細書並びに財産目録）について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第2号議案

役員（監事）選任の件

令和4年度通常総会の終結の時をもって任期満了となる役員（監事）の選任について、下記の監事2名の候補者を選任していただきたくお願いいたします。

なお、役員の任期は、定款第24条第1項の規定に基づき、「令和4年5月15日から令和6年度通常総会の終結の時まで」の2年間となります。

○監事（定数3名※ 候補者2名）

氏 名	所 属	備 考
岩 崎 文 昭	鳥飼総合法律事務所 弁護士・公認会計士	重 任
渡 邊 有 三	春日井市民病院 統括顧問	重 任

※定数3名のうち1名は、令和3年度通常総会において選任済み
（任期：令和5年度通常総会の終結の時まで）